



Race Report

29 May 2011 / Super Taikyu Series Round_1 SUGO

TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350 デビューレースを2位表彰台で飾る！

【Result】

05.29 Qualify : 3 rd / 3'35"637 (1'47"629 (吉本大樹) / 1'48"008 (小林敬一選手)

Starting Grid : 3 rd
05.29 Final : 2 nd

Series Rank : 2 nd

Super Taikyu Series Round_1
2011.05.29 (Sun)

■【天候】 雨 【コース】 ウェット

東日本大震災の影響で開幕の舞台がツインリンクもてぎからスポーツランドSUGOに改められ、さらにその日程も当初の予定より1週間ずらされ迎えた2011年のスーパー耐久シリーズ開幕戦。当初の開幕予定からは1か月半ほど遅れたものの、無事スタートが切られることとなった。



この開幕戦は1dayイベントとされたため、5月28日(土)は専有走行と公式車検のみが行われ、その専有走行は1時間ずつ3セッションが実施された。スーパー耐久シリーズには初登場となるLEXUS IS350を擁し今回のデビューレースを迎えたCar No.39のTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350は、前日金曜日に行われた30分×3セッション以外は事前に岡山国際サーキットでの短いテストランを数回行っただけ、実際にはまだまだ実戦への課題を数多く残したままこの日を迎える事となったものの、ドライバーには吉本大樹を筆頭に小林敬一選手、佐藤晋也選手という経験、実績の豊富な布陣を用意。さらに東日本大震災で甚大な被害を受ける事になった東北地方でのレース開催という事もあり、このレースウィークを前にスーパー耐久シリーズ、スーパーGTシリーズに参戦しているドライバーやその関係者と宮城県石巻市にある鹿妻小学校避難所を訪問していた3選手(詳細は別紙参照)は、「結果以上に、良いレースをしたい」という思いを胸にこのレースを戦う事となった。

迎えた土曜日最初のセッションは午前9時から開始。前日から降り続いていた雨は止んだものの、路面はまだセミウェット状態。TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350はまず小林選手からウェットタイヤでコースイン。その後完全なドライ路面へと変わっていくと各車がスリックタイヤへと変えてこのセッションを進める事となった。このセッションでは翌日の予選決勝に向け少しでもマシンの状態を良くするため、セットアップを中心に着実に走行を重ねたTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350。しかしその後2本目のセッションに入る頃になると、路面こそほぼドライになったものの今度は霧雨が舞うようになり、それがやがて視界を遮る霧へと変化。セッション後半にはスタンドから1コーナーの先がまったく見えなくなってしまいう程にまでコンディションが悪化してしまう。その後ピットワークを挟んで1時間半後に行われたセッション3でも霧はいっそう濃くなり、一時はまともな周回が出来ない時間帯も。結果、TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350は到底満足な走行が出来たとは言えない内容のままクラス6番手のタイムでこの日のプログラムを終了。「マシンのバランスとしてはリアがグリップ不足。セットアップを進めていくうえでバランスは良くなっていくけどユーズドタイヤでの3人のタイムはまとまっているけど、タイム的にはトップからは2秒落ち、NEWの1発アタックで1秒落ちの状態。初参戦としては悪くないかもしれないが、まだ差は大きいです」というコメントを残しマシンについては未だ手探りの状態が多い状態で翌日の予選決勝本番に挑む事となった。

PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PL0T2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED



Race Report

29 May 2011 / Super Taikyu Series Round_1 SUGO

Super Taikyu Series Round 1
2011.05.29 (Sun)

翌日曜日、午前9時5分から開始された公式予選。前日の天気予報は「午前中が曇り、午後から弱い雨」という予報であったこの日の仙台地方。しかしスポーツランドSUGOのサーキット上空からは午前中から雨が降り、予選は完全なウェットコンディションで行われる事となった。スーパー耐久シリーズの予選システムは、AドライバーとBドライバーの記録したタイムの合算でグリッドが決定される。前日の占有走行ではクラス6番手タイムをマークするに留まったTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350はこの公式予選に吉本大樹（Aドライバー）と小林敬一選手（Bドライバー）が出走。まず最初のAドライバー予選では、吉本大樹が極端なマシンのトラクション不足に苦戦しながらも1'47"629をマーク、クラス4番手に着ける。するとその後のBドライバー予選に出走した小林選手は、セットアップ変更もあまり状態が良くなかったマシンに加え、赤旗中断で40分もスケジュールのずれ込んだセッションでの走行ながら落ち着いて1'48"008を記録。合算タイムではクラス3番手のポジションを手に入れると同時に、「これからクルマを開発していく上で必要な部分も徐々に見えてきた（吉本大樹）」というコメントを残し、午後の決勝スタートを迎える事となった。

そして1dayイベント特有の慌ただしいタイムスケジュールの中、予選終了からわずかなインターバルで迎えた決勝のスタート。予選でコースを濡らした雨は極端に勢いを増すことこそなかったものの、やむ気配も一向になし。全車がレインタイヤを装着しレースが開始される事になった。決勝レースは距離ではなく3時間という時間でチェッカーが出されるレースとなり、1名のドライバーの走行時間は2時間（レースの3分の2）以下に限られる。このスタートでTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350のステアリングを握ったのは吉本大樹。その吉本はこの難しいコンディションの中ますますのスタートを切ったものの、予選後、トラクション不足だった部分を補う為に行ったセットアップ変更が上手くいかず、「トラクション不足はそのままに満タンということもあってアンダーステアが酷くなってしまった」というマシンで中々ペースを上げられない。さらにタイヤの摩耗スピードも全く分からなかった為、ある程度のマージンをもって無理無く走行を重ねていく。するとスタートから1時間程が経過したあたりからコース上はまたしても霧が濃くなり始め、やがて視界の確保も難しい状態となった為レースも50周目に入ったところでSC（セーフティーカー）が入る事に。この時点で2番手を走行していた吉本はこのタイミングでピットイン、後のレースを佐藤選手に託していく。

するとその佐藤選手はSCランが解除された後、久々のレース復帰ながらこの悪コンディションをものともせず3番手以下をどんどん引き離していきラップタイムを安定してマーク。トップとの差を少しづつ詰めていき、3ドライバー全員のタイムが上下する事無くまとまっているTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350にとっては小林選手に変わった後の追い上げ次第でトップとの90秒差をつめる事が出来るかという期待も出始める。しかしその後レースは残り40分となったところで再度濃霧によりSCが入り、佐藤選手はこのタイミングでピットイン。最後のスティントを小林選手へと繋いだものの、結局この濃霧はそのまま晴れる事無く、20分程のSCランが続いた後、レースも残り20分程となったところで赤旗が出されレースはそのまま終了。最終的にTWS TRACY C-WEST LEXUS IS350は2位のポジションでレースを終える事になり、今後に向けて多くの課題を見つけつつも、まずはデビューレースを表彰台で飾る事となった。

11' Super Taikyu Series Round 1 / SUGO
2011.05.29 (Sun) Qualify & Final
Text : www.hiroki-yoshimoto.com

【tracy sports Official Site】 <http://www.5d.biglobe.ne.jp/~tracy-sp/>
【Super Taikyu Series Official Site】 <http://www.supertaikyuseries.com/>
【吉本大樹 Official Site】 <http://www.hiroki-yoshimoto.com/>

【吉本大樹コメント】

Lexus IS350初参戦でこの結果は二重丸ではないでしょうか。チューニングパーツも乏しい車種でマシンを作り上げたチームにまずは拍手を送りたいです。

ドライバーラインアップも、日頃から何かと一緒にいる小林選手、そしてF3同期の佐藤選手ということで初めから良い雰囲気でしたし二人の走りは久々のレース復帰なのにプランクを感じさせませんでした。3人揃ったタイムが出せるというのは確実な強みです。

マシンはまだ開発が必要です。今回の結果は雨が見方してくれたというだけで、ドライではまだ勝負できる状態にいません。戦略面、ピットワーク等もちろんまだまだこれから。ストレートも遅いし、マシンも重い！けど、今が底辺でありここからは上しかないんです。着実な開発で少しずつマシンのパフォーマンスを上げていきたいと思えます。

たくさんの応援ありがとうございました！



PERSONAL SPONSORS

TWS

Corniche

S&I

VAPSn XPEL
Car Protection Specialist

osaka hall

TAKAI
CORPORATION INC.

esprit Car Beauty Factory

金剛防災

PARTNERS

PLAT2

Arai

SIDEWINDERS

HY SPEED

Other reports

26 May 2011

【Other reports】

スーパー耐久開幕戦を前に、S耐、GTドライバーとその関係者が鹿妻小学校避難所を訪問

東日本大震災の影響で、開幕の舞台がツインリンクもてぎからスポーツランドSUGOIに改められ、さらにその日程も当初の予定より1週間ずらされ迎えた2011年のスーパー耐久シリーズ開幕戦。その開幕戦を前にした5月26日、吉本大樹を含むスーパー耐久シリーズ、スーパーGTシリーズに参戦するドライバーやその関係者等（星野一樹選手、片岡龍也選手、藤井誠暢選手、平中克幸選手、佐藤晋也選手、小林敬一選手、吉田靖之選手、平峰一貴選手、成澤正人選手、Kraft橋本代表、A speed瀬口監督、一戸恵梨子氏、Tracy sports兵頭代表、TWS社、バンダイ社、大阪トヨペットロジスティック社）が声を掛け合い、宮城県石巻市にある鹿妻小学校避難所を訪問した。

この訪問では、今だ当避難所での生活を余儀なくされている270名の方々に向けてのタコ焼きの炊き出しが行われた他、同避難所での生活を送っている子供達へのおもちゃの配布、さらには3日後のレースに出場するS耐久車両（TWS TRACY C-WEST LEXUS IS350）を持ち込み、子供達を運転席に乗せての記念撮影等を行った。

この訪問に同行した吉本大樹は自身の公式ブログ内で、「言葉ですっと復興支援を続けなければならないとは言っていたものの、直接訪れたことで肌で感じた。そしてその気持ちは更に強くなった。最後はどうしても涙をおさえられませんでした。義援金活動はもちろん重要だし、引き続き行っていかなければならない事だと思います。でもその雰囲気が目減りしているのも事実。自分だってそうだと思う。そんな中、実際に被災地に行き、行動を起こした事で、非被災地に持ち帰られるものは大きいしもっと協力が必要だということも再確認できました。誰もが被災地に行けば良いわけではないとも思う。けど今回協力してくれたメンバーはその使命感をもって賛同してくれたのだと思います。形はそれぞれあれど、まだまだずっと続けていかなければなりません。たこ焼きを美味しい、ありがとうと言って頬張ってくれた皆さんには尻張ろうとしか言えないけど、尻張ろう！非被災者の自分には到底分からない苦難を乗り越えてる方々に対して少しでも力になれるように引き続き活動を続けたいです。今回、実費で応援に駆けつけてくれた多くの同士に心から感謝します。（一部抜粋）」と綴り、今後もこうした活動を継続していく方向性を改めて示唆した。

Photo

